

詩と翻訳 ポエトリーリーディング ワークショップ

2013年9月30日（月）

滋賀大学経済学部

本部管理棟3階会議室

10：30 受付開始 10：45～17：30

<朗読・講演>

「短歌とTANKA —アララギ写生説の影響—」

田中教子 歌人

「萩原朔太郎と翻訳文学—ドストエフスキー・
インシデントを中心として—」

キャロル・ヘイズ オーストラリア国立大学教授

「文学者から社会主義者まで—都々逸と大石誠之助—」

バーバラ・ハートリー タスマニア大学教授

「読めない詩—ハンセン病療養者長田穂波と
訳詩者ロイス・エリクソン—」

阿部安成 滋賀大学教授

「詩は翻訳できるのか—左川ちか詩の翻訳を通して—」

菊地利奈 滋賀大学准教授

<ディスカッサント>

エリス俊子 東京大学大学院総合文化研究科教授

連絡先：滋賀大学経済経営研究所 0749-27-1047

平成25年度滋賀大学教育支援基金支援事業男女共同参画推進研究助成

滋賀大学経済学部後援会後援